

大阪市主催「自転車マナーアップ体験イベント」に出展

～自転車事故に備える保険の啓発活動を実施～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：東口 嘉仁・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員 関西地区担当）は、11 月 1 日（土）に大阪市立天王寺公園エントランスエリア「てんしば」で開催された大阪市主催の「自転車マナーアップ体験イベント」に出展し、自転車事故に備える保険の啓発活動を実施しました。

令和 6 年の大阪府における交通事故全体に占める自転車事故の割合は 34.9%（大阪府警察データ）と全国平均の約 1.5 倍、ヘルメット着用率も 5.5%（警察庁データ）と全国で最も低い水準です。（全国平均 17.0%）

大阪府では毎年 11 月を「自転車マナーアップ強化月間」と定め、自転車の安全利用に向けた啓発を行っています。今回、大阪市は令和 7 年の強化月間の初日に「自転車の安全利用の大切さについて学び、その意識を広める」ことを目的に本イベントを初めて開催しました。

当日は、大阪市や大阪府警察をはじめ、自転車安全利用に取り組む各種団体や民間企業がブースを出展し、工夫を凝らした啓発が行われ、多くの来場者で賑わいました。

また、イベント後半のアンバサダーステージでは横山英幸 大阪市長が登壇し、映画『国宝』に出演した大阪市出身の俳優・森千紘さんとトークセッションを行いました。

当協会のブースでは、自転車に関する「そんぽクイズ」を実施し、大阪府自転車条例で加入が義務づけられている「自転車事故に備える保険」の必要性について理解を深めていただきました。

当支部では、今後も関係機関と連携し、地域の交通安全と交通事故防止に向けた啓発活動を継続してまいります。



アンバサダーステージの様子
（中央左は俳優・森千紘さん、中央右は横山英幸 大阪市長）



「そんぽクイズ」に挑戦する来場者



損保協会のブースに立ち寄る横山英幸 大阪市長
(右から2人目)



イベント案内チラシ